

# 西光寺だより

第二四八号 令和四年十二月一日発行

2022年も残すところあとひと月となりました。

12月は毎年慌ただしく過ぎていきますが、やはり大晦日が近づくと1年の終わりをしみじみと感じます。

年末になるとこの年の始めのお正月に描いた1年の目標やその年立てた思いが達成できていたのだろうかと思ひ返ることでもあります。

1年が始まって終わり、また新しい年が始まるように、すべての物は事は始まりと終わりを繰り返して進んでいくのだと思います。

今年は皆さんにとつてどんな1年だったでしょうか。来年はどんな1年にしたいでしょうか。

周りの評価や出来事に惑わされることなく真つすぐに自分の思いを実現したいものです。

『すべてのものごとは常に変化している』ことを知らずに100年生きるより

『すべてのものごとは常に変化している』ことを知って1日生きるほうがすぐれている（「ダンマパダ」第113偈）

いい事も悪い事も、今のつらい事もいつまでも続かないということでもあります。けれど変わらないものもあります。それはいつまでも見守つて下さる阿弥陀さまです。阿弥陀さまに見守られているという安心の中、皆さんとの変わらざるの出会いとご縁に感謝し、また新たな1年を過ごしたいと思ひます。1年間本当にありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



合掌

## ◆先月の報告◆

①十一月二十三日（水・祝）西光寺本堂にて報恩講法要を厳修致しました。毎年この勤労感謝の日は晴れの日が多かったのですが、珍しく雨の天気でありました。けれどそんな中、多くの方が足を運んで下さり、にぎにぎしくお勤めをさせていただきました。

また上穂積の善照寺御住職様には、急なご法話のご縁をご快諾いただき感謝の思ひであります。

プリントを用意していただき、わかりやすく報恩講の意味と正信偈の奥深さを幅広くお話していただきました。本当にありがとうございます。



②十一月二十九日（火）茨木東組総代会研修旅行に参加してまいりました。今回は17カ寺のお寺の総代様17名が参加しました。西光寺からは4人の総代様と住職、5人での参加でありました。およそ3年ぶりのバスツアーでありましたが、久しぶりの旅行とあって楽しく過ごさせていただきました。ただし少し天気が悪かったですが…。

姫路市の蓮如上人開基の亀山本徳寺に参拝致しました。中宗堂（蓮如堂）があるのは全国に3カ所しかなく、吉崎御坊・山科別院とここだけあります。元は新選組の屯所の建物で西本願寺から移築された本堂やそこに残されている新選組の当時の刀傷など、他にも見どころがたくさんあり、あつという間のお時間でありました。

また昼食の時間は、総代様4人と過ごすことができ、改めて大切な出会いを感じることができました。本当にありがとうございました。



本堂でお勤め



中宗堂（蓮如堂）



## ◆十二月・一月の行事◆

・十二月 三十一日（土）

### 除夜の鐘

午後十一時五〇分〜

西光寺鐘楼

※ぜんざい・お茶の接待は中止とさせていただきますが、  
本堂での参拝はどうぞご自由にお参り下さい。

令和五年

・一月 一日（日）

### 元旦会法要

午前十時より

西光寺本堂

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>